

会 議 録

会議の名称	第7回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和3年9月8日(水) 午後1時30分～午後2時47分
開催場所	長瀬町役場 3階大会議室
出席者	委員15名、事務局4名
欠席者	委員1名
会議の内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 町民アンケートの概要と集計結果について (2) 学校再編について (3) その他 4 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第7回長瀬町学校のあり方検討委員会次第</li> <li>・ 町民アンケートの概要と集計結果（資料）</li> <li>・ 学校再編について</li> <li>・ 答申内容の骨子（案）</li> </ul>
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 町民アンケートの概要と集計結果について

事務局) 町民アンケートの概要と集計結果について説明。

委員長) 事務局から説明がありましたけれども、委員のみなさんには、集計結果をあらかじめ配付させていただいておりますので、目をとおしていただいていると思う。学校の小規模化等についてどのように思うかは、どちらかと言えば望ましくない・望ましくないを合わせると64%で、小規模化については望ましくないという意見が多かった。学校の再編について保護者の意見をもとに小学校の統合を望む回答が多かったのですが、自由記入の欄ではさまざまな意見がでている。学校見学などを踏まえながら皆さんの意見等をお聞かせいただければと思います。

委員) アンケートを見させていただいていろいろな意見があるなと思いました。ほとんどの人が統合を望んでいるように感じる。小学校2校統合か、小学校2校と中学校の統合か難しいところだと思う。いずれにしても近い将来、統合が進むのではないかと思う。

委員) 学校3校まわってみて、極端に人数の差があって、二小のほうは先生と生徒1対1で授業をやっているように見受けられる。一小のほうはあれだけいると児童の方が勉強に追いつかないかなという気持ちもする。平均的な児童数であれば一番いいのですが、地域的な問題がありますからなんとも言えないのですけれども、アンケートのように早めに統合を考えていくのがいいかなと思う。

委員) アンケートの内容では、小学校の統合より全体統合のほうがいいという意見がすごく多いが、時間がかかるので、まずは小学校の統合をしてという方向のほうがと思う。第二小学校に対しては第一小学校までいくのにどうしたらいいのか、フォローを付け加えて出せばだいぶ変わると思いま

す。スクールバスの送迎を始めると第一小学校でうちのほうが遠いよという不満がでてくると思う。その辺をどう解消するかだと思ふ。世間で登校時にトラックが突っ込む事故やバス停が危ないところがあったりして、第二小学校だけではなくて第一小学校でもキロ数を決めてスクールバスを運行するメリットをつけたほうが、長瀬は安心だから移ろうかという人も増えてくるのではと思う。

委員) 意外と二小の地域の方が統廃合を望んでいる感じがしました。少人数化のデメリットを感じているとは思ふ。アンケートの結果から一小到二小が吸収合併されちゃうと困るという集計結果があがっていると思った。二小の複式学級が来年度から危惧されるので、前回の意見にあったが、通学区域を変えて、現在、一小区域の方で二小に近いところの方を二小に編入してもらおうと良いと思う。その次に小学校2校を再編して、その後から小中を再編しないと時間がかかってしまう。校舎の建替えや予算もあると思うので、将来を見越しても小中3校を再編すると予算が必要ですし、時間がかかってしまうので、とりあえずは、通学区域の再編をおこなってから、次に小中の再編をしたほうが一番現実的なのではと思う。

委員) アンケートに関して皆さんがコメントしていることが多いと感じた。その中で、生徒に対する思いやりというのはきめ細やかな指導がおこなわれるということで、大変多くの回答者があった。きめ細やかな指導というのが、少人数の場合に適応するのか、それとも、大人数の中で適応するのかということを見ると、少人数の方がきめ細やかな指導ということで展開されるのではと感じた。編成する場合において、一小で見た内容で1つのクラスの中に入りきれないくらい児童が入っているクラスがあった。それを見たときに、きめ細やかな指導ができていないのではと感じた。今までの教育委員会の関係の方、生徒の指導をされている方、一小到二小を見て比較したことがあるのかなと感じた。一小到二小の生徒の環境の状態は、最小限同じような環境にしなければいけないのではと感じた。すぐにできることとして、一小到二小の人数を最低限でも1クラスが同じぐらいの人数にしたほうが、すぐできることとして良いと感じた。小規模化について望んでいることが、アンケートの結果、全体的に多くの方達が住民も父母の方々も同じような内容だった。二小の方たちが小規模化に対して消極的な意見が出ると思ったが、二小の方達も統廃合を望んでいることが多いと感じた。方向性としては、小規模化について検討せざるをえないのかなと感じた。

じた。その中で、PTA活動などで、保護者に対する負担というのが、前回の保護者のアンケートも今回の住民アンケートでも多いと出ている。小学校のPTA活動を把握できていないが、どの部分に保護者の負担があるのか考えてみる必要性があると思った。今回、会議が7回目ということになるが、答申の時期になるかなと思います。アンケートをとって学校訪問もさせていただいたので、そろそろまとめてもいいのかなと思う。

委員) 保護者の立場から小学校2校の統一か小中の統一かどちらでも良いので、どちらかの方向で決めていってもらいたいと思った。どんどん進めて行かないと子どもが減っていくと思う。せつかく長瀬町が良いところなので、長瀬町に住みたいって引っ越しをしてきた方を知っているので、そういう方々の為にも小学校を統合したり、小中と統合したりして先に進めて行った方が良いと思った。

委員) アンケート結果を拝見させていただいて、統合するべきことではあるが、皆さんのおっしゃる子どもの為にとという意見であれば学校間の交流をとという言葉がたくさんあった。子ども達の交流をとという部分を解消する為にも統合するのを前提に学校間でもう少し交流をもって子ども達の配慮をしていただきたいと思った。今も、通学に安全面が疑問視されるところもあるので、人数が減ったことによって班がどうしても人数が少なくなって下校をすることができなくなり、学童を利用しなければならない現状があるので、スクールバスを是非お願いしたいと思う。

委員) 今の段階で、長瀬町の人口増・児童増というのは、望めることではないのかなと思う。子どもの人数などを考えると統合というところがでてくると思う。二小が少ないから大きいところに合併するのは、お金もかからないし一番簡単。しかし、中学校でも人数が少なくなってくる時代がくると思う。部活動がしたいから違う学校へ行くことが現在でもあり、テニスをやりたいからテニスの強豪校に、サッカーがやりたいからできるチームに行くとか強豪校に行きたい子が行ったこともある。私立の中学校もできて、送迎もあり、私立中学を目指してくる子どもたちもでてくると思う。小学校だけの統合を考えていると、中学校も数年後には人数が少なくなってくると思うので、何らかの対策をして、大きいところに小さいところを合併する問題で行くのは将来的に長瀬町から学校がなくなってしまうのではないかなと思う。住民として1つくらいは残してほしいと思う。その為に学校がなくなる方法を考えて行かなければと思う。アンケートで

は、統合して2クラスになれば、いじめもなくなるし、コミュニケーション能力も芽生えてくるのではないかという意見がある。統合は仕方がないが将来的に長瀬町に1校だけは学校があってほしい。

委員)各設問に対する回答は、小学校のみの統合と小中一貫校に対する以外は、ほぼ同意見に近いと思う。小学校のみの統合と小中一貫校の際、現状は僅差であると思った。統合内容の詳細が明確化されてくると僅差が変化してくるのではと考える。前回の資料にあったように、校舎の築年数で45年以上となる老朽化の学校施設となっていると思う。小中一貫校の教育が推進されることによって、小規模校への対応と、学校施設の効率化が図れるのではと考える。9年間を見据えて、9年間を通じた教育課程を打ち出し、保護者にも伝わるところがあるのではと考えた。

委員)アンケートの印象としては、どちらとも言えないという答えも結構あって、どっちが良いと、はっきり言えない。その辺がどう考えているのか知りたいところ。先程、学校を残してほしいと発表がありましたが、確かなことだと思う。学校については、市町村合併もでてくると思う。横瀬は小学校1校、中学校1校ということで、芦ヶ久保小学校が離れてあったが今は1校になっている。小鹿野と皆野でも小学校が複数あるがなんとかしなくてはと進んでいる。長瀬も危機が迫っているところもあるかと思うが、アンケートの結果を見ると考えなくてはなのだろうと思った。答申ということなので、全体の意見をまとめて、あとは町の方で考えていただくということでもいいのかなと思う。

委員)統合する方向で進むのであれば、学校は地域の中心的地方であると思う。長二小も地域の人がか大切にしてくれていると思うので、その思いを大切に、これから先の計画を進めていければと思う。もし、統合になったら、どこに学校ができるのか、どんなふうに通うのか、不安でもあったりすると思う。みんなが納得できるような形になるのが大切だと思う。

委員)小中一貫、小学校・中学校で統合もあるのですが、長瀬町の特色を打ち出す上で魅力的なものになると思う。小学校・中学校となると建物を建てる場所や準備に非常に時間がかかることだと思うので、最終的に目指すとして、前段階として違ったかたちで、小学校・中学校を1つの学校にする魅力的な選択肢の1つかなと思う。選択肢がたくさんあると思うが、小規模校を解消するような形で動いていかなければならないのが今後の流れなのかなと感じた。

委員) 関わっている人たちが、不安でしかない、どうなってしまうのか、どの学校にどうしたら良いのか不安が否めない。こういうふうにしていく、こういうふうになるのではないかというのを早く言ってあげたい気持ちがある。最終的なビジョンとして、小中一貫校が長瀬にはあるのが望ましいとしても、それをするためにどのくらいの時間がかかるのかというのを考えてくださっているとは思いますが、ある程度のスケジュールを示せるようにしたら、それを見せつつ、そこに至る前に差し当たってこういう方法があるのではというのを示した方が、みんながあまり不安にならずにいられるではと思う。統合というと、小さい方が大きい方に行くイメージが強い。預かっている0～2歳児は、1学年が10人～15人なので、小さい方が大きい方に行くことにこだわらなくても、効率よく、スクールバスの問題も含めてできることを、ムダなくまわしていくことを考えていただくのが良いと思う。行政の判断もあると思うが、小学校を統合して、それから5年・6年経って、中学校のことを考えればと思う。

委員長) ありがとうございます。

## (2) 学校再編について

事務局) 小中一貫教育の説明

委員長) ありがとうございます。いろいろな一貫校というのがありますが、いずれは検討が必要な時期がくるのかなと思います。例として、行田と春日部をあげていただきましたが、こういう学校もあるということを踏まえておいていただければと思います。

## (3) その他

今後のスケジュールについて (事務局から説明)

事務局) 5月に年間のスケジュールをお配りしていると思いますが、9月の委員会のところでは、答申内容の案を提案するという事になっておりました。

A4版で答申内容の案ということで配付をさせていただき、表紙がありまして、何項目か分けてまとめができればと思うのですが、教育委員会としての考えをまとめて答申としているということで、目次の次に、はじめにということで町の概要や課題、委員会の取組、答申に向けた言葉などを載

せたいと思います。次に内容に入っていきます、「1. 長瀬町の小・中学校の現状と将来推計」の(1)として、検討委員会はじまったところに将来推計等みなさんの意見をいただきながらアンケートなどをつくったのですが、アンケートに掲載した資料を載せたものをメインに載せていきたいと考えています。(2)の学校規模で学校の規模についてまとめ、(3)では、基本となる公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きがありますので、内容をふまえて距離や地域の関係についても手引きにあるので、織り込みながらまとめていきたいと考えています。「2. 学校規模に起因する利点・課題」ということで学校見学に行った際に委員のみなさんに配付した資料なのですが、学校ごとにまとめていただきました利点や課題について、載せさせていただければと思います。「3. 学校教育に関するアンケート調査結果」ということで調査結果をまとめたものを載せたいと思います。「4. 学校規模適正化及び学校規模に起因する課題を軽減する方法」ということで、課題を軽減するにはどのようにしたら良いのか委員会で話し合ってきた内容をまとめて載せたいと思います。「5. 小中学校の学校のあり方に関する基本的な考え方」ということで、本日まで、皆さまからたくさんの意見をいただいた話し合いの中での方向性をまとめて、答申に向けた考え方を掲載していきたいと思います。最後に資料編として、諮問の写しや委員会の設置条例、委員の名簿、会議の開催経過、アンケートの全体的な内容を載せて、次回の11月の会議の通知の時に案をお示しして、内容を考えて行けたらと思います。このようなスケジュールでいきたいのですがいかがでしょうか。

委員長) 事務局から提案がありましたが、意見などがありましたらお願いします。

#### 4 事務連絡(事務局から)

次回の委員会の日程ということで、11月に予定をいれさせていただきたいと思います。委員長・副委員長との日程調整で委員さんに早めに通知を配付したいと思いますので、次回も出席いただきますようよろしくお願い致します。

#### 5 閉会(事務局)

---